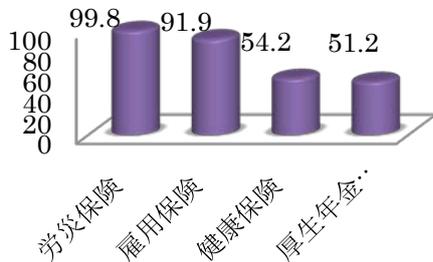


「農の雇用事業」にみる経営体の概要

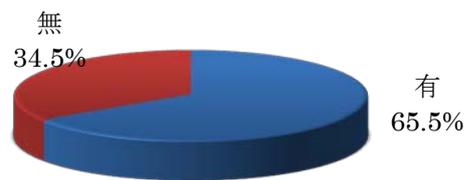
○「農の雇用事業」の採択の状況

第1回募集（平成21年3月）	募集 1,000 人	応募 1,800 人	採択 1,226 人
第2回募集（平成21年7月）	募集 2,000 人	応募 1,940 人	採択 1,830 人
第3回募集（平成21年11月）	募集 500 人	応募 840 人	採択 536 人
第4回募集（平成22年6月）	募集 1,400 人	応募 1,744 人	採択 1,456 人
第5回募集（平成22年10月）	募集 500 人	応募 1,047 人	
今までの総計	募集 5,400 人	応募 7,371 人	採択 5,048 人

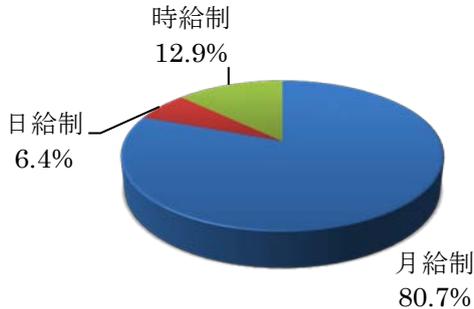
○公的保険への加入状況



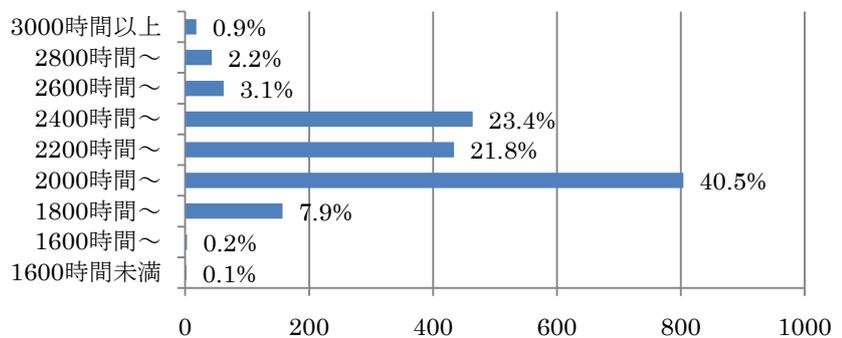
○賞与の有無



○給与形態（第2回～）



○年間の労働時間（第3回～）



○よくある事業実施経営体の声

- ・農業では、労働時間が適用除外となっているのに、なぜ残業代の支給が必要になるのか？
- ・事業に参加するため雇用保険に加入すると、パートタイマーも加入させなければならないのか？
- ・正社員として雇用する場合、給与をいくら支払ったらよいか分からない。

◆事務局便り◆

これまでに5千人以上の雇用を生みだした「農の雇用事業」ですが、この事業をきっかけに初めて正社員を雇用した経営体の割合も非常に多くなっています。社会保険への加入や定期昇給の制度化など、継続的な雇用に向けた課題が多く浮かび上がってきています。

上に書いた声以外にも「農業に正規雇用はそぐわない」という声も上がっています。しかし、高齢化や後継者不在の現実は待ってくれません。環境整備は至急のことと考えています。